

(別紙4(2))

社会福祉法人南有会
事業所名: グループホーム望

作成日: 平成29年11月20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	連絡ノートは、申し送り時に入居者・家族の意見・要望などを記録して、職員間で回覧していたが、6月以降途絶えている。職員間で共有する為にも継続していく必要がある。	連絡ノートを復活させる。	その日にあった申し送りに必要な事を職員各々が記入し朝夕の申し送り時に一緒に申し送る。	1ヶ月
2	33	看取り期における研修の機会が十分とは言えない。今後、積極的に外部や内部研修を受講し、職員間で共有していくよう取り組みが必要である。	看取り期における研修の機会を設ける(内部)	看取りに向けての内部研修を行なう。 ①記録②家族との連絡調整③死後の処理、見送り④書類の作成(看取り用)	6ヶ月
3	25	防災マニュアルは作成しているが、地震想定訓練が実施されていない。	地震を想定した訓練を実施する。	年間の消防訓練計画の中に入れ込んで実施する。 昼間を想定して3月 6月に実施する。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。